

[急増中] ファンの3割500万人に危険信号! あなたも「パチンコ依存症の間」から

「軽度なら2週間打たない」「抗うつ剤が効くケースも」

溝口 敦著
いまこそ処方箋が必要

「大当たりすると、脳内にエンドルフィンという脳内麻薬の一種の分泌が増して多幸感を得ますが、大当たりが終わりに近付くと今度はやる気や意欲を導くドーパミンが出てきてもっと打ちたくなる。一方で同時にセロトニンという満足を感じさせる物質も出るのですが、依存に至る過程では、



生還できる!

「リカバリー・サポート・ネットワーク」代表の西村直之氏

昨年本誌に連載、9月に単行本化された『パチンコ30兆円の闇』もうこれで騙されない』(溝口敦著・小社刊)は4万部を超えるロングセラー。それはそのまま業界が孕む『病巣』の大ささを示しているが、同書が指摘したなかでも、ファンにとって喫緊の課題は増加し続ける『依存症』である。業界団体も動いた。

「パチンコ依存は増加の一途で、昨年は4万部を超えたロングセラー。それはそのまま業界が孕む『病巣』の大ささを示しているが、同書が指摘したなかでも、ファンにとって喫緊の課題は増加し続ける『依存症』である。業界団体も動いた。

依存の悪弊としては、パチンコに耽るあまり、夏に駐車場の車中に置き去りにされた幼児が熱中症で死亡するといった事故が頻発したことが挙げられるが、それだけではない。

東京・豊島区の榎本クリニックでソーシャルワーカーとして依存症患者のケアを行なっている星島一太氏が実際に相談を受けただけでもこんな例がある。

●仕事へのストレスから300万円のマイホーム資金にまで手をつけてしまったサラリーマン

●子供のための教育資金まで取り崩し消費者金融に通う主婦

●5年間で30000万円負

写真はイメージです

ドーパミンの量だけがどんどん増えてセロトニンが少なくなる。丁度、恋をした時に何度も会ってもまだ足りないというのと同じような気持ちになるのです」

依存が進むと、パチンコに行くと決めた瞬間にからドーパミンの分泌が極端に上がる。これは何もパチンコに限ったことではなく、他のギャンブル依存、ブランド依存やワーカホリック、ネット依存、デイトレードでも同様だという。

「ドーパミンの受け皿には遺伝子レベルで個人差があり、快感が伝わりにくい人ほど依存になりやすいといえる。また、日常生活でコルチゾルというストレス物質が多くなると、セロトニンが減って依存が始まりやすい」(同)

パチンコにハマったことがある人なら、「今日は負けたが明日こそ必ず」と思つたことは数知れず、だろう。その時点では始まつてているのである。

ではどうやって、「闇から抜けるか。

け、それを取り返そうと他のギャンブルにまで手を広げ、計2億円の借金を負った挙句、薬物依存にも陥って逮捕され、現在は服役中の中小企業社長……。

パチンコ依存が家計、家庭を崩壊に導く例はそれこそ枚挙に暇がない。

業界団体もここにきて無視できないと感じているようだ。全日遊連は5年間で1億円を出資して、4月19日から依存症患者向けの相談窓口「リカバリー・サポート・ネットワーク」をスタートさせる。

同代表に就任した精神科医の西村直之氏が語る。

「パチンコ依存の実態はまだよくわかっていない」というのが現実です。4人のソーシャルワーカーの方々による電話相談を中心に対応を重ねて事例を整理していくみたい。そうすることでの対応マニュアルもつく

10時間セラピーを9か月続けた

菊紀助教授によれば、脳内の生活パターンを変える。

「まずいったん断ち切ることです。軽度の方なら、2週間打たないでいれば、ドーパミンのバランスが元に戻り、やがて打ちたいといふ気持ちは薄らいでいくはずです。また、セロトニンを増やす抗うつ剤が効くことがあります」(星島氏)

ただその間も我慢できないうような段階になれば、まことに必要になってくる。

「自助グループなどを通じて同様の悩みを持つ人と体験を話し合ったり、情報を交換するなどして自分をコントロールする術を取り戻していくしかない。他の趣味に力を注げばいいといつても、なかなか一人では難しい。周囲の協力も必要になります」(星島氏)

前出の星島氏のクリニックでは、依存症に苦しむ夫が会社を休職し、1日10時間のセラピーを夫婦ともども9か月続けてようやく会社復帰を果たしたという例がある。

俳句や散歩などをプロ

れるだろうし、いすればガ

イドラインや回復に向けたプログラムも作成して各地に配布したい」

同ネットワーク運営委員には西村氏の他にも弁護士や精神保健福祉士、司法書士なども名を連ねる。

西村氏がさらに続ける。

「パチンコ依存の問題は業界の不正問題とも関連しています。依存症や多重債務の人が他の世界では生きられないなってホールのスタッフとして働き、給料を貰つたらそれをまたパチンコで使い果たしてしまっていうようなケースも多い。これはひとつ間違うと、犯罪組織に裏口(不正)に出玉がどれよう内容が改ざんされた基板)を仕掛けるようスタッフが「買収」される原因になってしまつたりする。そういうった部分も含めて多角的に取り組むつもりです」

パチンコ依存の問題は業界の不正問題とも関連しています。依存症や多重債務の人が他の世界では生きられないなってホールのスタッフとして働き、給料を貰つたらそれをまたパチンコで使い果たしてしまっていうようなケースも多い。これはひとつ間違うと、犯罪組織に裏口(不正)に出玉がどれよう内容が改ざんされた基板)を仕掛けるようスタッフが「買収」される原因になつてしまつたりする。そういうった部分も含めて多角的に取り組むつもりです」

け、それを取り返そうと他のギャンブルにまで手を広げ、計2億円の借金を負った挙句、薬物依存にも陥って逮捕され、現在は服役中の中小企業社長……。

パチンコ依存が家計、家庭を崩壊に導く例はそれこそ枚挙に暇がない。

業界団体もここにきて無視できないと感じているようだ。全日遊連は5年間で1億円を出資して、4月19日から依存症患者向けの相談窓口「リカバリー・サポート・ネットワーク」をスタートさせる。

同代表に就任した精神科医の西村直之氏が語る。

「パチンコ依存の実態はまだよくわかっていない」というのが現実です。4人のソーシャルワーカーの方々による電話相談を中心に対応を重ねて事例を整理していくみたい。そうすることでの対応マニュアルもつく

10時間セラピーを9か月続けた

菊紀助教授によれば、脳内の生活パターンを変える。

「まずいったん断ち切ることです。軽度の方なら、2週間打たないでいれば、ドーパミンのバランスが元に戻り、やがて打ちたいといふ気持ちは薄らいでいくはずです。また、セロトニンを増やす抗うつ剤が効くことがあります」(星島氏)

ただその間も我慢できないうような段階になれば、まことに必要になってくる。

「自助グループなどを通じて同様の悩みを持つ人と体験を話し合ったり、情報を交換するなどして自分をコントロールする術を取り戻していくしかない。他の趣味に力を注げばいいといつても、なかなか一人では難しい。周囲の協力も必要になります」(星島氏)

前出の星島氏のクリニックでは、依存症に苦しむ夫が会社を休職し、1日10時間のセラピーを夫婦ともども9か月続けてようやく会社復帰を果たしたという例がある。

俳句や散歩などをプロ

れるだろうし、いすればガ

イドラインや回復に向けた

プログラムも作成して各地に配布したい」

同ネットワーク運営委員には西村氏の他にも弁護士や精神保健福祉士、司法書士なども名を連ねる。

西村氏がさらに続ける。

「パチンコ依存の問題は業界の不正問題とも関連しています。依存症や多重債務の人が他の世界では生きられないなってホールのスタッフとして働き、給料を貰つたらそれをまたパチンコで使い果たしてしまってい

うようなケースも多い。これはひとつ間違うと、犯罪組織に裏口(不正)に出玉がどれよう内容が改ざんされた基板)を仕掛けよう

スタッフが「買収」される原因になつてしまつたりする。そういうった部分も含めて多角的に取り組むつもりです」

け、それを取り返そうと他のギャンブルにまで手を広げ、計2億円の借金を負った挙句、薬物依存にも陥って逮捕され、現在は服役中の中小企業社長……。

パチンコ依存が家計、家庭を崩壊に導く例はそれこそ枚挙に暇がない。

業界団体もここにきて無視できないと感じているようだ。全日遊連は5年間で1億円を出資して、4月19日から依存症患者向けの相談窓口「リカバリー・サポート・ネットワーク」をスタートさせる。

同代表に就任した精神科医の西村直之氏が語る。

「パチンコ依存の実態はまだよくわかっていない」というのが現実です。4人のソーシャルワーカーの方々による電話相談を中心に対応を重ねて事例を整理していくみたい。そうすることでの対応マニュアルもつく

10時間セラピーを9か月続けた

菊紀助教授によれば、脳内の生活パターンを変える。

「まずいったん断ち切ることです。軽度の方なら、2週間打たないでいれば、ドーパミンのバランスが元に戻り、やがて打ちたいといふ気持ちは薄らいでいくはずです。また、セロトニンを増やす抗うつ剤が効くことがあります」(星島氏)

ただその間も我慢できないうような段階になれば、まことに必要になってくる。

「自助グループなどを通じて同様の悩みを持つ人と体験を話し合ったり、情報を交換するなどして自分をコントロールする術を取り戻していくしかない。他の趣味に力を注げばいいといつても、なかなか一人では難しい。周囲の協力も必要になります」(星島氏)

前出の星島氏のクリニックでは、依存症に苦しむ夫が会社を休職し、1日10時間のセラピーを夫婦ともども9か月続けてようやく会社復帰を果たしたという例がある。

俳句や散歩などをプロ

れるだろうし、いすればガ

イドラインや回復に向けた

プログラムも作成して各地に配布したい」

同ネットワーク運営委員には西村氏の他にも弁護士や精神保健福祉士、司法書士なども名を連ねる。

西村氏がさらに続ける。

「パチンコ依存の問題は業界の不正問題とも関連しています。依存症や多重債務の人が他の世界では生きられないなってホールのスタッフとして働き、給料を貰つたらそれをまたパチンコで使い果たしてしまってい

うようなケースも多い。これはひとつ間違うと、犯罪組織に裏口(不正)に出玉がどれよう内容が改ざんされた基板)を仕掛けよう

スタッフが「買収」される原因になつてしまつたりする。そういうった部分も含めて多角的に取り組むつもりです」

け、それを取り返そうと他のギャンブルにまで手を広げ、計2億円の借金を負った挙句、薬物依存にも陥って逮捕され、現在は服役中の中小企業社長……。

パチンコ依存が家計、家庭を崩壊に導く例はそれこそ枚挙に暇がない。

業界団体もここにきて無視できないと感じているようだ。全日遊連は5年間で1億円を出資して、4月19日から依存症患者向けの相談窓口「リカバリー・サポート・ネットワーク」をスタートさせる。

同代表に就任した精神科医の西村直之氏が語る。

「パチンコ依存の実態はまだよくわかっていない」というのが現実です。4人のソーシャルワーカーの方々による電話相談を中心に対応を重ねて事例を整理していくみたい。そうすることでの対応マニュアルもつく

10時間セラピーを9か月続けた

菊紀助教授によれば、脳内の生活パターンを変える。

「まずいったん断ち切ることです。軽度の方なら、2週間打たないでいれば、ドーパミンのバランスが元に戻り、やがて打ちたいといふ気持ちは薄らいでいくはずです。また、セロトニンを増やす抗うつ剤が効くことがあります」(星島氏)

ただその間も我慢できないうような段階になれば、まことに必要になってくる。

「自助グループなどを通じて同様の悩みを持つ人と体験を話し合ったり、情報を交換するなどして自分をコントロールする術を取り戻していくしかない。他の趣味に力を注げばいいといつても、なかなか一人では難しい。周囲の協力も必要になります」(星島氏)

前出の星島氏のクリニックでは、依存症に苦しむ夫が会社を休職し、1日10時間のセラピーを夫婦ともども9か月続けてようやく会社復帰を果たしたという例がある。

俳句や散歩などをプロ

れるだろうし、いすればガ

イドラインや回復に向けた

プログラムも作成して各地に配布したい」

同ネットワーク運営委員には西村氏の他にも弁護士や精神保健福祉士、司法書士なども名を連ねる。

西村氏がさらに続ける。

「パチンコ依存の問題は業界の不正問題とも関連しています。依存症や多重債務の人が他の世界では生きられないなってホールのスタッフとして働き、給料を貰つたらそれをまたパチンコで使い果たしてしまってい

うようなケースも多い。これはひとつ間違うと、犯罪組織に裏口(不正)に出玉がどれよう内容が改ざんされた基板)を仕掛けよう

スタッフが「買収」される原因になつてしまつたりする。そういうった部分も含めて多角的に取り組むつもりです」

け、それを取り返そうと他のギャンブルにまで手を広げ、計2億円の借金を負った挙句、薬物依存にも陥って逮捕され、現在は服役中の中小企業社長……。

パチンコ依存が家計、家庭を崩壊に導く例はそれこそ枚挙に暇がない。

業界団体もここにきて無視できないと感じているようだ。全日遊連は5年間で1億円を出資して、4月19日から依存症患者向けの相談窓口「リカバリー・サポート・ネットワーク」をスタートさせる。

同代表に就任した精神科医の西村直之氏が語る。

「パチンコ依存の実態はまだよくわかっていない」というのが現実です。4人のソーシャルワーカーの方々による電話相談を中心に対応を重ねて事例を整理していくみたい。そうすることでの対応マニュアルもつく

10時間セラピーを9か月続けた

菊紀助教授によれば、脳内の生活パターンを変える。

「まずいったん断ち切ることです。軽度の方なら、2週間打たないでいれば、ドーパミンのバランスが元に戻り、やがて打ちたいといふ気持ちは薄らいでいくはずです。また、セロトニンを増やす抗うつ剤が効くことがあります」(星島氏)

ただその間も我慢できないうような段階になれば、まことに必要になってくる。

「自助グループなどを通じて同様の悩みを持つ人と体験を話し合ったり、情報を交換するなどして自分をコントロールする術を取り戻していくしかない。他の趣味に力を注げばいいといつても、なかなか一人では難しい。周囲の協力も必要になります」(星島氏)

前出の星島氏のクリニックでは、依存症に苦しむ夫が会社を休職し、1日10時間のセラピーを夫婦ともども9か月続けてようやく会社復帰を果たしたという例がある。

俳句や散歩などをプロ

れるだろうし、いすればガ

イドラインや回復に向けた

プログラムも作成して各地に配布したい」

同ネットワーク運営委員には西村氏の他にも弁護士や精神保健福祉士、司法書士なども名を連ねる。

西村氏がさらに続ける。

「パチンコ依存の問題は業界の不正問題とも関連しています。依存症や多重債務の人が他の世界では生きられないなってホールのスタッフとして働き、給料を貰つたらそれをまたパチンコで使い果たしてしまってい

うようなケースも多い。これはひとつ間違うと、犯罪組織に裏口(不正)に出玉がどれよう内容が改ざんされた基板)を仕掛けよう

スタッフが「買収」される原因になつてしまつたりする。そういうった部分も含めて多角的に取り組むつもりです」

け、それを取り返そうと他のギャンブルにまで手を広げ、計2億円の借金を負った挙句、薬物依存にも陥って逮捕され、現在は服役中の中小企業社長……。

パチンコ依存が家計、家庭を崩壊に導く例はそれこそ枚挙に暇がない。

業界団体もここにきて無視できないと感じているようだ。全日遊連は5年間で1億円を出資して、4月19日から依存症患者向けの相談窓口「リカバリー・サポート・ネットワーク」をスタートさせる。

同代表に就任した精神科医の西村直之氏が語る。

「パチンコ依存の実態はまだよくわかっていない」というのが現実です。4人のソーシャルワーカーの方々による電話相談を中心に対応を重ねて事例を整理していくみたい。そうすることでの対応マニュアルもつく

10時間セラピーを9か月続けた

菊紀助教授によれば、脳内の生活パターンを変える。

「まずいったん断ち切ることです。軽度の方なら、2週間打たないでいれば、ドーパミンのバランスが元に戻り、やがて打ちたいといふ気持ちは薄らいでいくはずです。また、セロトニンを増やす抗うつ剤が効くことがあります」(星島氏)

ただその間も我慢できないうような段階になれば、まことに必要になってくる。

「自助グループなどを通じて同様の悩みを持つ人と体験を話し合ったり、情報を交換するなどして自分をコントロールする術を取り戻していくしかない。他の趣味に力を注げばいいといつても、なかなか一人では難しい。周囲の協力も必要になります」(星島氏)

前出の星島氏のクリニックでは、依存症に苦しむ夫が会社を休職し、1日10時間のセラピーを夫婦ともども9か月続けてようやく会社復帰を果たしたという例がある。

俳句や散歩などをプロ

れるだろうし、いすればガ

イドラインや回復に向けた

プログラムも作成して各地に配布したい」

同ネットワーク運営委員には西村氏の他にも弁護士や精神保健福祉士、司法書士なども名を連ねる。

西村氏がさらに続ける。

「パチンコ依存の問題は業界の不正問題とも関連しています。依存症や多重債務の人が他の世界では生きられないなってホールのスタッフとして働き、給料を貰つたらそれをまたパチンコで使い果たしてしまってい

うようなケースも多い。これはひとつ間違うと、犯罪組織に裏口(不正)に出玉がどれよう内容が改ざんされた基板)を仕掛けよう

スタッフが「買収」される原因になつてしまつたりする。そういうった部分も含めて多角的に取り組むつもりです」

け、それを取り返そうと他のギャンブルにまで手を広げ、計2億円の借金を負った挙句、薬物依存にも陥って逮捕され、現在は服役中の中小企業社長……。

パチンコ依存が家計、家庭を崩壊に導く例はそれこそ枚挙に暇がない。

業界団体もここにきて無視できないと感じているようだ。全日遊連は5年間で1億円を出資して、4月19日から依存症患者向けの相談窓口「リカバリー・サポート・ネットワーク」をスタートさせる。

同代表に就任した精神科医の西村直之氏が語る。

「パチンコ依存の実態はまだよくわかっていない」というのが現実です。4人のソーシャルワーカーの方々による電話相談を中心に対応を重ねて事例を整理していくみたい。そうすることでの対応マニュアルもつく

10時間セラピーを9か月続けた

菊紀助教授によれば、脳内の生活パターンを変える。

「まずいったん断ち切ることです。軽度の方なら、2週間打たないでいれば、ドーパミンのバランスが元に戻り、やがて打ちたいといふ気持ちは薄らいでいくはずです。また、セロトニンを増やす抗うつ剤が効くことがあります」(星島氏)

ただその間も我慢できないうような段階になれば、まことに必要になってくる。

「自助グループなどを通じて同様の悩みを持つ人と体験を話し合ったり、情報を交換するなどして自分をコントロールする術を取り戻していくしかない。他の趣味に力を注げばいいといつても、なかなか一人では難しい。周囲の協力も必要になります」(星島氏)

前出の星島氏のクリニックでは、依存症に苦しむ夫が会社を休職し、1日10時間のセラピーを夫婦ともども9か月続けてようやく会社復帰を果たしたという例がある。

俳句や散歩などをプロ

れるだろうし、いすればガ

イドラインや回復に向けた

プログラムも作成して各地に配布したい」

同ネットワーク運営委員には西村氏の他にも弁護士や精神保健福祉士、司法書士なども名を連ねる。

西村氏がさらに続ける。

「パチンコ依存の問題は業界の不正問題とも関連しています。依存症や多重債務の人が他の世界では生きられないなってホールのスタッフとして働き、給料を貰つたらそれをまたパチンコで使い果たしてしまってい

うようなケースも多い。これはひとつ間違うと、犯罪組織に裏口(不正)に出玉がどれよう内容が改ざんされた基板)を仕掛けよう

スタッフが「買収」される原因になつてしまつたりする。そういうった部分も含めて多角的に取り組むつもりです」

け、それを取り返そうと他のギャンブルにまで手を広げ、計2億円の借金を負った挙句、薬物依存にも陥って逮捕され、現在は服役中の中小企業社長……。

パチンコ依存が家計、家庭を崩壊に導く例はそれこそ枚挙に暇がない。

業界団体もここにきて無視できないと感じているようだ。全日遊連は5年間で1億円を出資して、4月19日から依